

## 平成25年度第7回小牧市地域協議会市民会議会議録

- 1 開催日時** 平成25年6月27日(木)  
午前10時～11時30分

**開催場所** 小牧市役所 本庁舎4階 404会議室

## 2 出席者

- (1) 市民会議委員 19名
- (2) 事務局 協働推進課：鍛冶屋課長、伊藤課長補佐、堀田係長、葛谷
- (3) 傍聴者 なし

## 3 会議資料

会議次第

委員名簿

地域協議会市民会議からの意見書に対する考え方

地域協議会制度方針

パンフレット（みんなで一緒に地域づくり）

先進地視察研修＜参考資料＞

## 4 会議内容

- 1 会長あいさつ
- 2 地域協議会制度方針について
- 3 先進地視察研修について
- 4 事務連絡

## 【司 会】

皆様、おはようございます。

ただいまから第7回地域協議会市民会議を開催いたします。

最初に、稲垣会長から御挨拶をいただきたいと思います。お願いします。

## 【会 長】

皆さん、おはようございます。

本日は、第7回の地域協議会市民会議を開催いたしましたところ、このように大勢の方々に御出席いただきまして、まことにありがとうございます。

さて、今までの経過をちょっと御説明したいと思います。

といいますのも、この間、約5カ月ぐらい間がありまして、今日も皆さん方とお会いしたときに、久しぶりだねというような言葉も交わす、そのぐらいの間がありますので、思い出していただくということから説明させていただきます。

さて、昨年7月から発足いたしました会議ですが、昨年度は地域協議会の制度設計ということで、皆様にそれぞれのお立場で大変熱心に議論をしていただきました。そして、6回の会議を経まして、事務局の案に対しまして、私たちの会議から、こんな点に考慮していただきたいということで意見書というものを出示しまして、全9項目にまとめて市長へ提出させていただきました。

そして、年度をまたぎまして、市のほうで当面の制度方針が固まったということで、この資料がその間にできております。また、「みんなで一緒に地域づくり」というパンフレットもつくられております。

そして、この間、市民会議も、前回は1月23日に会議をしておりますから、約5カ月ぶりに再開させていただきました。今後、市で全市的に周知していくわけですが、この制度方針は、地域協議会の設立に当たり、最低限決めておくべき基本的な項目でまとめたものでありますから、これから地域で組織をつくろうとか、あるいは具体的な事業を展開するときに、今よりも細かい部分が出てくるかと思えます。そのときには、またこの会議を持たせていただきますから、その点、御協力をしていただきたいと思えます。ですから、今年度も皆さん方に引き続き、委員をお願いしたいと思っております。

そしてまた、市民会議の委員も、本来ならば2年任期ということでござ

いますが、いろいろ地域の事情もありまして、20名中5名の方が入れかわりということになっております。新しい委員になられました方も、不明な点がありましたら遠慮なく御発言をしていただいて、できるだけ皆さんと同じレベルまで進んできていただきたいと、こんなことをお願いする次第でございます。

いろいろありますが、本日は議題が2題、1つは地域協議会制度方針について、もう1つは先進地視察研修についてということですので、十分な御審議をお願いしまして、冒頭の挨拶にかえさせていただきます。よろしくお願ひいたします。

#### 【司 会】

ありがとうございました。

稲垣会長の御挨拶にもお話がございましたが、5名の方が新しく委員に就任されておりますので、事務局から御紹介させていただきます。

小牧市区長会から委員として伊藤一進さん、同じく田中良幸さん、同じく小島正広さん、小牧市小中学校PTA連絡協議会から澤平敏秀さん、また本日は欠席をしておみえですが、保健連絡員から匂坂磨美さんに新しく委員として御就任いただきました。どうぞよろしくお願ひいたします。

また、申しおくれましたが、私もこの4月から協働推進課課長補佐としてお世話になっております伊藤と申します。よろしくお願ひいたします。

なお、新しい方の委嘱状につきましては、本日、机上に置かせていただいておりますので、後ほど御確認ください。

それでは、会議の議事進行は会長が行うこととなっておりますので、稲垣会長、よろしくお願ひいたします。

#### 【会 長】

それでは、早速会議を進めたいと思います。

次第の2地域協議会制度方針についてということで、事務局に説明を求めます。

[事務局から資料に基づき、説明]

#### 【会 長】

ありがとうございました。

今まで審議してきたことを、再度説明していただいたわけでございます

が、事務局の説明に対しまして、何かこんな点を聞いておきたいとか、御意見がありましたらお伺いしたいと思います。何かありますか。

【委員】

現在の進捗状況というか、どんな進め方をしているかだけちょっと聞かせていただきたいと思います。どこかで、うちの区からやってもいいよ、うちの小学校区からやってもいいよというようなところはありますか。

【事務局】

進捗状況と、あとは地区のお話しかと思いますが、進捗としては、今申し上げましたとおり、制度方針が固まったところであります。これから順番に、6地区の区長会で説明会の場を設けていただいております、7月いっぱいをかけて順番に、まずは区長さんに説明をさせていただくという状況です。

地区の動きにつきましては、モデル地区という言葉は出ておりますが、あくまでも最初の設立から手上げ方式で進めていきたいと考えております。市としましては、今年度、何とか2地区、3地区ぐらいで、そういう設立に向けた動きが出てくるといいと考えておまして、特に今の段階で、ここというものはございませんが、実は去年、第1回目の市民会議を開催させていただいた折に、陶小学校区の、たまたま市民会議の委員のメンバーの皆さんの中に、上末の落合区長がおみえであったり、ボランティアセンターの長谷川委員がおみえであったり、あと市老連の水野委員がおみえであったりという中で、陶小学校区は、上末と下末と高根の3つの区で構成されている小学校区なんです、まとまりもあるという言葉でちょっと会話が合ったかと思えます。

我々としては、もし本当に設立に向けて御検討いただけるなら、ぜひ一度勉強会からスタートできればということがひとつあります。

もうひとつは、西部地区に「三ツ渚学区コミュニティ推進協議会」という組織がございまして、実は昨年度末3月に、三ツ渚小学校区の新旧区長さん、さらに民生委員さん、その他協議会の役員さん方を集めていただきまして、勉強会を企画していただき、事務局もそこで説明させていただいた経緯がございまして。

動きとしてはそれぐらいのところですが、もしそういうところで検討いただけるということであれば、私どもも積極的に地域に入らせていただいて、少しでも機運の醸成に努めていきたいと考えています。

**【委員】**

ありがとうございます。

手上げ方式で待っておっちは、恐らく進まんだらうと思うし、ましてや16小学校区をつくるということなら、年間3校ぐらいずつやっても5年かかる。それを待っていたら、とてもじゃないけど5年や6年でもできないだらうと思う。

もう少し、今、三ツ淵学区と言われたが、区長さんや今まで説明された団体さん等を集めて、どうですかという売り込みじゃないが、積極的に進めないと僕はできていかないと思っています。

ぜひ今後は積極的に進めていってほしいなと思っています。

**【会長】**

どうもありがとうございました。

今のお話の中に、地区ごとで区長会の説明会をやられるのであれば、日程的にわかっておれば教えていただいて、できればこの委員さんが地区の説明会なんかには、できれば傍聴していただいて、空気をつかんでいただいたらどうかなと思っています。ですから、説明会の日程が決まっておりましたら、ちょっと説明していただけないかなと思います。

**【委員】**

また今年1年間、説明だけで終わってしまうと、本当に何もならない。人がかわったからって、説明だけで終わってしまうと、すぐ2年、3年経ってしまう。

**【会長】**

貴重な御意見ありがとうございます。そのほか何かありませんか。

**【委員】**

このA3の資料で、1つ、初めて見たようなことがあるのですが、地域活動ポイント制度のところ、市の考え方で、地域助け合い交付金を活用するというようなことが書いてありますが、これはどういったものかお聞きしたいのと、区長会でこの地域協議会のお話をされたと思うのですが、どんな反応だったのかなというのをちょっとお聞きしたいです。

**【事務局】**

まず1点目で、地域活動ポイント制度の項目の中に、当面は地域協議会が実施する事業の協力者に対するお礼の部分について、地域助け合い交付金を活用することとしましたと書いてあります。これは何かといいますと、

当初は協力者を募る方法として、ポイント制度的なものを検討しておりましたが、これについては、もう少し継続して、検討させていただきたいと思っています。

では、仮に今立ち上がって、何かイベントを企画したときに、協力者をどうやって募るんだというところですが、先ほど総額1億円という地域助け合い交付金というのがございます。その中の事業費というのが半分ぐらい入っていますですけど、例えば地域でそういう行事をやるということになったときに、行事のスタッフですね。おまつりの準備とか片づけとか、当日の運営について、回覧なんかでチラシをつくっていただきまして、何月何日、どこどこでこういう行事をやります。それに当たりまして、こういう仕事を大体朝10時から12時までの2時間ぐらいお手伝いいただける方はおみえでありませんかというような募集チラシです。そのときに、もしお手伝いをいただける方がおみえでしたら、お礼として、ごみ袋を差し上げますとか、洗剤を差し上げますとか、そういうものを、地域のほうで何をお礼の部分にするのかというのを一度御検討いただきまして、交付金を使って少し粗品的なものを用意して、募ってみてはどうだろうという考え方です。

これは、実はある区長経験者から、区の敬老会の折、もともと1,000円の立派なバスタオルを1枚配っていたと、けど同じ1,000円の使い方も、1,000円分で、例えば砂糖とか、しょうゆとか、洗剤だとか、サランラップとかを買うように工夫したところ、来た人たちが喜ばれるよという話を聞いたことがあります。

そういう工夫をして、まずはそれで協力者を募るということではできないだろうかという考え方です。

もう1つが、区長会の反応のお話ですけど、実は昨年、各地区で2回ずつ、意見交換という形でやらせていただきました。当初は、区があるのになぜこんな新しい組織がまた必要なのかというところからスタートをしていました。

ただ、ここで制度方針にも書いてありますが、地域の絆力の低下の部分を見たときに、やっぱり昔と比べるとちょっと低下してきているなということ、また、人口減少と少子高齢化というのが、もう避けられない事態として受け入れなければいけない状況に来ていますというお話をしまして、そんな中で、少しずつ区長さん方に御理解をいただきました。

年度末の最後の説明会の際の反応としては、最初に比べると、中には、今の自分たちの自治会、区の状況を見たときに、その地域に住まわれる方々の高齢化の状況を見たりする中で、じゃあ今までやってきたことが、本当に10年先も20年先も継続できるだろうかということについて、区長さんたちも心配をされてみえる部分がありまして、中にはこの地域協議会というものに対して、少し可能性を感じていただいた方が出始めたという状況です。

ただ、ちょっと残念なことに、毎年128の区の中の大体7割ぐらいの区長さんたちが交代されるのが現状でありまして、またこの4月から新しい方が多数おみえになりますので、改めてまたこの1年間で新しい区長さんたちに、はじめから御説明、御理解をいただくという、そんな状況にあります。以上です。

**【会 長】**

どうもありがとうございました。  
よろしいでしょうか。

**【委 員】**

今年度の会議の回数、それからその内容についてももう計画ができていのかどうかということが1つと、今年度の最終段階の狙い、つまり16ページ一番下のほうに、モデル地区ということが書いてありますけれども、モデル地区を選定するぐらいで終わるか、それともモデル地区で実際に活動するところまでを今年度の狙いとするか、そこら辺の考え方を教えていただきたいと思います。

**【事務局】**

まずこの地域協議会市民会議の今年度の開催の予定なんですけど、本日、今年度の第1回目、昨年度からの引き続きで、第7回と次第には書いてありますが、今年度としては本日が1回目になります。

昨年6回開催させていただいたのですが、今年度は大体4回ぐらいを計画、予定させていただいております。

まず本日の会議の目的は、制度が固まりましたということで御報告をすることの会議です。

次の予定としましては、会議ではないんですが、次の議題でお話をさせていただきますが、昨年、この市民会議の委員さんの中から、やっぱり話を聞いているだけではなかなか分からないということで、先進地視察の要

望をいただいております。その準備が整いまして、受け入れ先のほうにも御了解をいただきましたので、この後、説明をさせていただきますが、次の予定としては、先進地視察、ただし、自由参加という形にさせていただくものであります。

その後の第8回、9回、10回の会議の開催時期につきましては、具体的な地域の動きというのが、私どももこれから投げかけてみないとわからない状況がありまして、その状況に応じて、9月、10月ぐらいで中間報告ですとか、例えば何か1つ事業をまずスタート、考え始めたということであれば、その内容を審議いただいたりというようなイメージであり、必要に応じて、会議の開催案内をさせていただきますので、ご理解願います。

そして今年度の狙いということにつきまして、モデル地区という言葉が出ていますが、先ほど林委員からもありました、何とか2地区、3地区での動きということを頑張っていきたいと思っています。

やはり設立総会を開催し、それではじめて地域協議会ができたと言えるのだろうと思っています。ただ、設立総会を開催するまでには、規約の案をつくったり、その地域の方々の委員候補や団体などをリストアップしたりという準備作業がその前の段階でどうしても必要になるかと思えます。

何とか来年の4月、春ぐらいを目指して、設立総会ができるような準備をどこかの地区で進められればいいなということが、今年度の狙いというふうに思っております。

#### 【会 長】

どうもありがとうございます。よろしいでしょうか。

#### 【委 員】

先ほど松浦委員が言われたところの「地域助け合い交付金」ということなんだけど、要はポイント制度を検討するというか、このポイント制度はあるか、なしにするのかということを考えながら、とりあえず当面は地域助け合い交付金を使ってやるということだけど、もし今後の検討の中で、ポイント制度やお礼の部分については、何もなくなったということもあえるのかどうか。そのあたりを地域で説明するときには、決めておかないといけないと思う。

説明する段階になって、これがあるのかないのか、あやふやな状況ではやはりよろしくない。



### 【事務局】

ポイント制度は、何とかやる方向でこれから進めていきたいと思っています。

交付金の活用につきましては、ここで制度を固めさせていただいて、説明させていただいていますので、このことをなくすという考え方は持っておりません。まずポイント制度ができるまでの暫定的なつなぎの部分として、交付金の活用で協力者を募っていただきたいと思っています。

仮にそのポイント制度でやるよりも、交付金の活用で本当に人が集まるという状況があるのであれば、今度は、ポイント制度のあり方について、ここで議論していただくということになるかと思います。

### 【会 長】

そのほか、区長会のほう、何かありませんか。

### 【委 員】

7月21日に参議院選挙がありますが、上末、下末、高根の投票所は、今までは陶保育園でやっていたんですね。今度から勤労センターのほうにかえていただいたということですがけれども、これはずっと以前に投票所を勤労センターにかえたいという話があったんですけど、なかなか区同士の話がうまくいかなくてできなかったという経緯があります。しかし、3年ぐらい前から合同で盆踊りなんかをやるようになりまして、そういうきっかけもあり、投票所を勤労センターにかえたいという話がまとまりました。3区合同でやると、いろいろなことができ、仲よくしていればそういう統一した要望も出せるということじゃないかなと思っています。

いずれにしても、陶地区では地域協議会の設立へ向けた話をいろいろ進めていこうかなと思っていますが、人を寄せてもうまくいかない場合に、ちょっと心配になりまして、二の足を踏んでおったというのは事実です。

そういう中で、市のほうである程度自信を持ってフォローしてくれないと、腰が上がらないと思うんですね。人が寄ってきたときに、今は難しいことを言う人がたくさんみえますので、市のほうで、みんな仲よくやっていけるような状況をつくればうまくいくんじゃないかと思いますし、役所のほうが途中で逃げ腰になれば、地域もまとまらないということになります。そういうことで、これから話をしていこうとは思っていますけれども、実際やろうと思うと、本当に心配があるということです。

**【会 長】**

地域協議会の決意を市にしっかり持ってもらわないといけないということですね。

**【事務局】**

ありがとうございます。私ども、こうやって皆様と1年間議論してきた末の制度設計をしましたので、しっかりとこれをもとに地域に入って御説明をして、御理解をいただきながら進めていきたいと思っております。

そこは着実にやっていきたいと思っておりますし、先ほど結構時間がかかるのではないかとということもありましたけれども、仮に陶地区で立ち上げていただいて、これを私ども全力でバックアップをして、うまくいく形で市民の方にみていただければ、恐らく加速度的に設立ができるのではないかと、いうふうに期待もしております。

今年は2地区ということで掲げておりますけれども、これにつきましても全力でお手伝いをさせていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

**【会 長】**

わかりました。予算のほうも大丈夫ですね。

**【事務局】**

財政当局には、十分に説明をして、予算を獲得していきたいと思っておりますので、よろしく願いします。

**【会 長】**

そういうことですので、よろしいですね。

この会議で話をしてもらい、委員の皆さんが保証人でございますから、頑張ってくださいと思います。

**【委 員】**

とにかく一つ進んでもらって、どんな問題が出てくるか分かりませんが、問題が出てきたことをここでまた発表してもらって、改善しながらやっていけばいいと思うので、まずはどこかの地区で進めてください。

**【委 員】**

昨年8月の地域協議会に関する意見交換会の実施報告とあって、前年度の会長から引き継いでもらっているんですが、こういう問題は、やっぱり人と人のつながり、これが一番難しいわけですね。林委員がいろいろと意見を言われるのは、南部コミュニティセンターができて、こういう組織が

できているから、ある程度お話ができるんだらうと思います。それと、今落合委員がお話しされたように、それぞれお互いに区同士のつながりがなければやれるものではないと思います。

だから、私どもこういう会議をするときに、そういう問題を少し、どうすれば一つの問題に対して取り組めるだらうかと考えていますし、制度も大事だと思うんですけど、もう少し具体的な方法が重要ではないかと思えます。僕は今の落合委員のお話のように、こういうふうな形でやったから、こういうふうにできましたよということですが、それぞれ大きな地域になりますとますます難しい話になります。なかなか今まで区同士の交流がなく、それぞれ区独自でやられている行事のほうが多うございました。

だから、私自身も今考えているのは、南部コミュニティさんがしっかりとした組織がありますので、ここから何らかの基盤として拡大してやっていきたいなど、こう思うわけですが、こういう組織がないところはどうすればいいかということを検討すべきじゃないかと思えます。

#### 【会 長】

御意見でよろしいですね。ありがとうございました。

#### 【委 員】

市内に3あい事業実行委員会というのが、昨年の実績で77くらい、大体の地区とは言わないまでも、6割か6割5分ぐらいの区には大体あります。

また、うちの区は、上新町なんですけれども、地域協議会ではないんだけど、上新町まちづくり協議会というのを立ち上げようということで、会員も32、3軒になりまして、いよいよ役員が決まれば総会ができるということまで来ています。

そのときに、役員を選ぶのに、結局老人会、子ども会、保健連絡員、民生児童委員、それから区のほうが区長、副区長、こういうメンバーが今年度の構想としてあるんですね。すると、地域協議会とほぼ同じじゃないかというメンバーになります。

だったら、わざわざ2つつくるというよりは、一緒にやりませんかということになるわけです。特に、子ども会の伊東副会長がおみえになりますが、子ども会の役員さんというのは1年やるのが精いっぱい、2年任期だとか継続という話になるととんでもない話で、大体役員をやりたくないから子ども会を脱退するぐらいの状況で、そういった役員を受けることそのものが大変しんどいし、小さい子どもを抱えているんで、夜とかいろん

な会合に出ることは難しいという状況があります。それなのに、また同じようなものをもう1つつくって出てこいという話になると、とてもじゃない協力できませんという話になってしまいまして、正直言って困ってしまうわけです。

3あい事業というのが、生涯学習課ですよね。市の窓口が協働推進課と生涯学習課と違うという部分はあると思うんだけど、この3あい事業は親子3世代の交流がメインになっていまして、地域協議会の交流促進事業になっているわけですね。できてないのが地域の課題解決の部分なんですけど、この地域の課題解決の部分が3あい事業の事業目的というか、趣旨に含まれていたら、一緒にやれるんじゃないかなという気がしてきたんですね。

役員も構成メンバーも同じだったら、2つ作らなくても、一緒にやればいいという話になってきてしまっていて、それも1つのいい案だなというふうに私は思っていますが、そうすると地域協議会が3あいに吸収されるか、どちらに吸収されるかわかりませんがね。そんなようなこともちょっと想定されるんですけども、3あい事業との整合性を市として考えてほしいなと思います。

#### 【委員】

私は、本庄区で3あい事業の運営委員をやっているのですが、ちょうど本庄小学校区だと4つぐらい区があるのかなと思います、その中の1つの区で3あい事業をやっているんですけど、特に防災について進めていこうかなと思っています。

しかし、防災ということは、本庄区だけでやってもどうしようもない話なので、本庄小学校が避難所になっているので、もしやるんだったら全区一緒にやらなきゃいけないよねという話になっていて、そこをどうつないでいったらいいのかなというのを、今3あいのメンバーとはお話をしているので、吸収されるのではなく、3あいが1つの区の中の小さなつながりをやればいいんだけど、例えば1年に1回だけ小学校区で大きなことをやればいいのかというのを思っていて、吸収ではなく、一員なのかというのと、やっぱり私もこの組織体系というのを見ると、こちらの左のほうの自治会のところはもう決まった方の顔しか出てこないんですけど、右端の地域ボランティアをどのぐらい集められるのかなというのが課題かなと思って、ここの部分がいっぱい集まってきたら、地域協議会がうまくいく

のかなと思っています。

地域では、昔からある自治会のあのメンバーのところには行きたくないけど、新しい地域ボランティアのところだったら何か頑張れそうだなという方は、結構いるんじゃないかなと思っています、こちらをどう集めたらいいのかなというのを、市の協力を得てやっていけたらいいかなとすごく思っています。

#### 【委員】

今、本庄区の方から3あい事業のことについて説明がありました。私は、味岡地区区長会で会長をしておりますが、味岡地区には味岡小学校、本庄小学校、一色小学校、この3つの小学校があります。

それで区としては一応29区ありますが、それぞれ区においては自治会活動、それから3あい事業など、いろいろな活動をしておりますが、味岡地区としては、全体でやった活動は今のところありません。区単位で全部しております。

#### 【事務局】

私どもも、各地区に入ったときに、非常に3あい事業を区長さんが評価をされてみえまして、これはぜひ大変だけどやっていきたいという声をたくさんいただきました。それで、これとの整合性については、また生涯学習課と十分詰めていかなければいけないと思うんですけども、先ほど松浦委員がおっしゃったとおり、3あい事業の中で小さいところでやっているものについて、いいところもたくさんあります。それはそれで生かしながら、おっしゃっていただいたように、年1回の防災訓練については、例えば3あい事業に位置づけながらも校区でやっていくだとか、3あいそれぞれやっていますけれども、この事業とこの事業は、一度小学校区ぐらいでやってみようかというようなお話ができれば、そこはうまくすみ分けができると思いますし、その合同でやった事業をどういうところに位置づけるかということもまた整理をしていけば、何かいい方法があるのではないかとということで、イメージを持っております。

この際3あい事業をなくしてしまつて、地域協議会のほうに一元化するだとか、またその逆だとかということは考えておりませんので、それぞれのいいところを生かしながら、かつ事業が効率的になるように、それぞれがメリットがあるような形で御相談をさせていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

### 【委員】

そういうことじゃなくて、役員構成がもうほとんど一緒なんですね。要するに3あい事業と地域協議会で、同じメンバーが同じ日に出てくる、同じメンバーでやるなら、課題解決という要素を増やせば一緒にやれて、2回も出てこずに済むということです。

だから、今の子ども会なんかの場合は、夜出るなんてことは小さな子どもがいたら大変なことで、預ける人があってやっと出られるわけですから、2つに増やして、両方出るというのが大変きついということでもあります。実は地元のほうから話があったので、ちょうど本日の会議の中で少し聞いてみたいと思い、ちょうど市子連の伊東さんもおみえになるので、ちょっとお話聞かせていただきたいと思います。

### 【副会長】

私も、二重組織ということについては、大変当初から心配してまして、先ほどのご意見のとおり、小さい子どもを抱えていますので、家をあけるということが大変難しい状況です。ただ、市子連に所属している子ども会さんは、毎月1回定例の会議を第2金曜日の夜だと思っんですけど、7時15分ぐらいから1時間30分、短いところで30分弱ぐらいの会議をやらせてもらっています。そこは子どもさんを連れてきてもらってもいいですということで、子ども会の親御さんばかりなので、大変理解があるもんですから、その辺で子どもがちょっと暴れているというような状況なんですけど、それでやらせてもらっています。

できれば、出てくる回数を少なくするという意味でも、うまくかぶせてやっていただくとか、協力してやっていただけるといいんじゃないのかなと僕自身も思いますので、ぜひ考慮いただければと思います。

### 【事務局】

会議の開催のことだと思いますけど、それについてはおっしゃられたとおりにできるだけ工夫をしていきたいと思っますし、ほかの、例えば市子連さんの場合ですと、市子連さんと老人クラブさんだとか、それぞれの方が話し合う中で、今まで市子連が全てを担っていたんだけど、ある老人クラブの役員さんは、そういうことであれば、私たちができるところは何かないかなあという話も聞いたことがございますので、そういうことで、いろんな団体が情報交換なり、困っていることを共有することによって、お互いに補えることができないかなというところも、地域協議会の目的の

一つだと思いますので、話し合いの中でいい方法を探していきたいと思っております。

【会 長】

どうもありがとうございます。ほかに何かありませんか。

【委 員】

最初に林委員から、この調子でいけば5年はかかるというお話、本当に作るのであれば、やっぱり早々にできて機能していくようにと思うんですが、一般論を投げかけても、なかなか実感として受けとめてもらえないのではないかというのが私の意見です。

ですからひとつの提案としては、具体的なテーマを投げかけて、それで地域協議会が重要な役割であるということを知っていただくことで、一歩も二歩も進んでいくというのが大切かなと思うんですね。その具体的な提案としては、昨年度も提案させていただきましたけど、やっぱり防災、安心・安全をいかにやるかというときに、今、防災マップ作成から時間が経って、現状にそぐわないということもあるし、それから地域ごとで状況が違いますから、それこそ地域でいざというときにどうしたらいいかということを議論していく必要がある。

それから、もう1つはやっぱり公共交通だと思うんですね。これも巡回バスとか、今はデマンド交通もありますけれども、地域の実情で、例えば巡回バスならどういうルートが、みんながいろんな意見を持っているけど、お年寄りとか子どもたちとか、それぞれの立場で状況は違うけど、これをどうすり合わせるかとか、これは子ども会もそうだし、老人会もそうだし、地元の区もそうだし、福祉的にもそうだし、同じテーマを今ある組織で、これをそれぞれの会、子ども会だったらこういうふうに公共交通が欲しいという意見があると思います。

あるいは、防災だったら、通学路のことも小学校でつくっていると思うんですけど、例えば、災害のときにここは塀が倒れるんじゃないかとか、細やかな把握をしているはずなんですけど、この地域協議会でそれぞれの細やかな情報を持ち寄って、トータルでどういうふうに安心・安全を図っていくのか、日ごろの公共交通の充実を図っていくのかを整理する必要があります。

ですから、私の提案は、日ごろ困っているような具体的なテーマを投げかけ、それをたたき台にして、やはり横をつなげる役割が必要であり、そ

れを地域協議会が担っているんだと思うんですね。

ですから、まず僕の認識でいえば、この2つをテーマとして投げかける中で、やっぱりそれぞれの既存の組織がそれにかかわり、それをつなげていくことを地域協議会がやっていくというふうな図式というか、そこでそれぞれの地域協議会の必要性を訴えて、あるいは一歩二歩進めていくというのが具体的なやり方としてあるのかなというふうに思います。

#### 【事務局】

ありがとうございます。

具体的なテーマを持って必要性を訴えながら、地域のほうへということの御提案かと思います。

おっしゃるとおり、今、市が考えているのは、イメージですけど、市民の方々に、共通認識されるだろうと思うのは、まず防災と、もうひとつが福祉の分野ではないかなと考えています。

これについては、地域性ではなくて、多分全市域で共通の課題になってくるんじゃないかなと思っています。また、あと公共交通とか、名鉄沿線の地域にしてみると、比較的余り課題を感じてみえなかったりですとか、ほかにも外国籍の方が多い地域だとか、工場が多い地域だとか、特に高齢化が激しい地域とか、少子化が激しい地域とか、いろいろそれは地域性があるかと思います。現実、少子化といいながらも、実は小牧南小学校では、学校の校舎が不足して教室が足りなくて、今プレハブをつくって、そこに職員室を持って行ってというような状況もありまして、やはり市全体を捉えると、やはり地域性というのはそれぞれあるかと思います。

それをまずこの地域協議会の中で、まずはこの地域はどういう特徴があって、どういうことが地域の課題なんだろうというところをちょっと出合っただけであれば、その後は私どものほうで、全国を見れば、本当に財政力の悪いところはかなり進んで、地域の方々と行政が一緒になっている課題解決をやり始めていますので、そういう事例なんかは、そのときに、私ども職員が入っていきますので、いろいろと紹介させていただきたいと思います。

そういう形で、ちょっと時間がかかるかもしれませんが、地域と行政が一緒になって、取り組んでいきたいと考えています。

#### 【委員】

初めモデル地区を2つ3つという話で、最終的には10年ぐらいかかると



いうふうに決めてしまっていて、早くつくったところだけ残ったということになってしまう可能性もなきにしもあらずですね。

結局、モデルでつくってみただけで、そういうことだったら、別にそう慌ててつくこともないなという意識が皆さんに芽生えてくると、かえってブレーキになっちゃって、そう慌ててつくらんでもええわなということになっちゃったら、永久にできない地区が出てくるということが心配されます。

やはり市が将来を見据えて進めていこうとする課題があるのであれば、全地域にやっぱりお願いしていかなきゃいかんということになると思います。そのときに、地域によって、10年ぐらいの差がついちゃっていると、同じことをお願いしても、ごく一部のところにしか波及できないということになりまして、行政効果も何分の一になっちゃうということになりますよね。

だから、私は今年の地区会長さんは前向きに考えていただいていると思っておりますし、必要性を感じているうちに全市につくる必要があると思います。組織はとにかくつくって、あと地域でいろいろ内容が違おうと思いますので、それは地域の実情に合わせて、課題にしろ、交流にしてもやっていけば私はいんじゃないかなというふうに思っています。やるなら事務局は大変かもしれませんが、地域の協力をいただきながら、同時に進めていっていただいたほうが、3年以内には全部できるというふうな、私はそんなスケジュールにさせていただけたらいいかなと思います。

#### 【会 長】

ありがとうございました。

力強い発言をいただきまして、2、3地区と言わず、多ければ多いほどいいでしょうし、少なくとも、ここに地区の会長さんがみえますから、地区会長さんのところ1つぐらいは立ち上げていただくように努力していただきたいと思います。

意見のほうは尽きませんが、時間の関係もありますので、これで次第2の地域協議会制度方針については終わりにいたしまして、次の次第3の先進地視察研修についてに入っていきたいと思いますから、よろしく願いします。

それでは、事務局お願いいたします。

[事務局から資料に基づき、説明]

【会 長】

ありがとうございました。

そうしたら、出欠表は、今書いてもらったほうがいいかね。

【事務局】

できれば、お願いします。

【会 長】

では、お帰りのときに事務局へ提出してください。

【委 員】

これは最終的にいつまでですか。ちょっと会議が重なっているの、検討してみないと返事ができないんです。この会議で言いだした私がこんなことを言っておってはいかんで申しわけないんですけど、よその会議と重なっておりますので、検討して返事したいと思います。

【事務局】

では、今、ご発言がありましたけれども、皆さん御予定ありますので、もし本日予定が分かれば出していただいて、分からなければ、来週、1週間前の7月5日の金曜日までに事務局のほうまで、電話で結構ですので、御連絡をいただきますようお願いいたします。

【委 員】

これ去年の委員で、やめられた人へ案内は行かないんですか。

【事務局】

去年の委員さんへは出してないです。

【委 員】

去年の方もやるといって聞いてるから、いいかなと思っただけです。

【会 長】

こういう機会ですから、できるだけ皆さん都合をつけていただきまして、一緒に参加していただけたらと、こんなふうをお願いする次第です。

そのほか何か質問、この件でありますか。ないようですので、第7回の地域協議会市民会議をこれで終わります。

長時間に亘り、ありがとうございました。